

# 2007 年 IEEE 東京支部 総会資料

2007 年 3 月 19 日  
IEEE 東京支部  
<http://www.ieee-jp.org/section/tokyo/>

## 2007 年 IEEE 東京支部総会

### 総 会

日 時： 2007 年 3 月 19 日 ( 月 ) 14 時 00 分 ~ 15 時 50 分

場 所： 東京都渋谷区渋谷 4-4-25  
アイビーホール青学会館 4 階 クリノン

議 事：

1. 開会の挨拶
2. 役員の紹介
3. 支部長挨拶
4. 2006 年活動報告
5. 2006 年会計報告
6. 2007 年活動計画報告
7. 2007 年予算案承認
8. 2007 年新 Fellow 紹介および表彰式
9. 閉会の挨拶

### 講 演 会

日 時： 2007 年 3 月 19 日 ( 月 ) 16 時 00 分 ~ 17 時 00 分

場 所： 同 上

講演者： 朝倉吉隆 氏 ( トヨタ自動車株式会社 HVシステム開発部主査 )

演 題： 「ハイブリッドカー・プリウスの開発から得た学び」

### 懇 親 会

日 時： 2007 年 3 月 19 日 ( 月 ) 17 時 10 分 ~ 19 時 00 分

場 所： 東京都渋谷区 4-4-25  
アイビーホール青学会館 2 階 シャロン

## 2007/2008年IEEE東京支部役員・理事

### 1. 役員

Chair	支部長	青木 利晴	(NTTデータ)
Vice Chair	副支部長	田井 一郎	(東芝)
Secretary	セクレタリ	菅原 勉	(東芝)
Treasurer	トレジャラ	橋本 秀紀	(東京大学)

### 2. 理事会メンバー

青木 利晴	(NTTデータ)	栄藤 稔	(NTTドコモ)
田井 一郎	(東芝)	井家上 哲史	(明治大学)
菅原 勉	(東芝)	原島 文雄	(東京電機大学)
橋本 秀紀	(東京大学)	花輪 誠	(日立製作所)
山下 幸彦	(東京工業大学)	林 秀樹	(住友電機工業)
井筒 雅之	(情報通信研究機構)	竹内 精一	(東京電機大学)
横山 明彦	(東京大学)	南 隆敏	(富士通研究所)
羽鳥 好律	(東京工業大学)		

### 3. 常設委員会

Committee	Chair	Vice Chair	Secretary
Chapter Promotion	山下 幸彦 (東京工業大学)	田中 聡久 (東京農工大学)	平野 拓一 (東京工業大学)
Fellow Nominations	井筒 雅之 (情報通信研究機構)	井上 宏明 (日本オプネクスト)	川西 哲也 (情報通信研究機構)
Membership Development	横山 明彦 (東京大学)	田中 秀郎 (ビスキヤス)	大崎 博之 (東京大学)
Nominations	羽鳥 好律 (東京工業大学)	黒澤 馨 (茨城大学)	久保田 彰 (東京工業大学)
Technical Program	栄藤 稔 (NTTドコモ)	末松 憲治 (三菱電機)	滝田 亘 (NTTドコモ)
Publications	田井 一郎 (東芝)	菅原 勉 (東芝)	庄木 裕樹 (東芝)
Student Activities	井家上 哲史 (明治大学)	山中 直明 (慶応大学)	森岡 一幸 (明治大学)

## 2006 年東京支部活動報告

### 1. 支部総会

2006 年 3 月 1 日(水)、午前 11 時からパレスホテル B1Fのゴールデンルームにおいて開催された。総会に引き続き、2006 年新Fellowの証書伝達式及び、表彰式が行われた。

### 2. IEEE東京支部設立 50 周年記念セレモニー

2006 年 3 月 1 日(水)、午後 2 時からパレスホテル B1F のゴールデンルームにて開催された。セレモニーに引き続き、講演会が行われた。

### 3. 支部理事会

第 1 回 3 月 1 日(水)パレスホテル 3F 会議室 出席者 11 名

- ・ 2005 年決算報告及び監査報告
- ・ 2006 年予算案
- ・ 支部推薦 2006 年 Fellow 候補者
- ・ 2005 年総会資料

第 2 回 6 月 9 日(金)住友電気工業(株)本社 3F 中会議室 出席者 13 名

- ・ 2007/2008 年役員・理事の選出について
- ・ 2006 年 SAC 活動計画
- ・ 2006 年度 FNC 活動計画
- ・ Region10 Meeting 参加報告
- ・ 第 1 回 Japan Council 理事会
- ・ 東京支部 50 周年記念セレモニー
- ・ 東京支部とソウル支部との協定に関して
- ・ VHS IEEE Milestone 受賞

第 3 回 9 月 8 日(金)住友電気工業(株)本社 3F 中会議室 出席者 10 名

- ・ 2006 年東京支部リポート
- ・ 2006 年 7 月末会計報告
- ・ 信越支部設立に関して
- ・ 2006 年 FNC 活動報告
- ・ 2006 年 SAC 活動報告
- ・ 第 2 回 Japan Council 理事会報告
- ・ IEEE Milestone : VHS 受賞の件
- ・ IEEE 東京支部 会合費・懇親会費について

第4回 12月15日(金) アイビーホール青学会館 4F クリノン

出席者 19名

- ・ 2007/2008年支部役員・理事・委員会メンバー
- ・ 2007/2008年 Japan Council 東京支部代表理事案
- ・ 2006年活動報告および2007年活動計画案
- ・ 2006年決算予想および2007年予算案
- ・ 2006年度 FNC 活動報告
- ・ 2006年度 SAC 活動報告
- ・ VHS Milestone 贈呈式
- ・ 信越支部設立について

#### 4. 支部主催講演会

2月22日 弘済会館 4F 「萩の間」

参加者 72名

「音声分析・合成技術と音声符号化方式」～歴史的回顧と展望～

板倉 文忠氏 (名城大学 教授)

(2005年 IEEE Jack S. Kilby Signal Processing Medal 受賞者)

#### 5. その他の会合

(1) 「新 Fellow を囲む懇親会・記念パーティー」 3月1日 パレスホテル B1F ゴールデンルーム

参加者：Award 受賞者、2006年新フェロー、協賛学会、IEEE 役員・理事支部理事 他 計 108名

(2)2006年 Region10 Meeting

参加者：本部関係者、Region10 関係者、Council / Section 代表 他 計 87名

東京支部代表出席者：菅原理事

日本からのその他の参加者：末次、小山、谷岡、長岡、山本、齋藤、矢野 (敬称略)

(3) VHS Milestone 贈呈式・(講演会レセプション) 10月11日 ホテルオークラ

参加者：竹内 Region 10 Director 他 IEEE 関係者、日本ビクター社関係者、日本ビクター社来賓  
計 27名

#### 6. 常設委員会の活動

- ・ Fellow Nominations Committee

「2008年 IEEE フェロー候補者推薦のお願いと支部長エンドースメント発給に関するお知らせ」を電子メールにて東京支部事務局より発信した。

- ・ Nominations Committee

6月～11月度において、メール、理事会を通して選挙運営活動を行った。

- Technical Program Committee

上記 4.項に示す講演会を企画実行した。

- Publications Committee

会員への情報サービスとして、“IEEE Tokyo Bulletin,, を発行し、東京支部の全会員にメール配信すると共に、支部のホームページに掲載した。

- Student Activities Committee

( 1 ) IEEE Region 10 Student Congress ( 中国・北京 7月 13～16 日開催 ) への派遣の支援  
東京支部管内の学生ランチからの参加者 ( 4 名 ) に対する渡航費用の支援を行った。

( 2 ) 2006 年度 IEEE 学生ランチリーダーシップワークショップ ( 名古屋大 11 月 18 日 ) への派遣の支援

国内の学生ランチ(全 17 ブランチ)の代表者 48 名が集まって活動報告を行った。東京支部管内の学生ランチ(東京電機大学・横浜国立大学・東京工業大学・武蔵工業大学・東京大学・慶應義塾大学・明治大学\*)から 15 名が参加し、旅費の支援を行った。

\*明治大学は学生ランチ設立準備中

( 3 ) 第 3 回 IEEE Tokyo Young Researchers Workshop ( 東京工業大 12 月 11 日 ) への支援

東工大、横浜国大、武蔵工大、東北大、名古屋大各学生ランチが実行委員となり、全国の大学からの発表を募集し、東京工業大学大岡山キャンパスで開催された。

以上

## 会員の状況

### 1. 東京支部会員数

(各年の12月末の会員数)

Year	Total	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1999	6,693		0	255	410	5,097	689	242
2000	6,961	4.00	0	265	416	5,259	727	294
2001	7,200	3.43	0	275	431	5,143	983	368
2002	7,299	1.38	0	303	437	5,183	994	382
2003	7,318	0.26	2	308	429	5,595	587	397
2004	7,471	2.09	2	313	467	5,709	522	458
2005	7,708	3.17	2	326	467	5,856	541	516
2006	7,580	-1.66	2	335	465	5,714	481	583

略号： HM: Honorary Member      F: Fellow      SM: Senior Member  
M: Member      A: Associate      St: Student

### 2. 全日本会員数

Year	Total	前年比 増加率%	HM	F	SM	M	A	St
1956	50							
1964	666		1	8	105	302	99	151
1969	1,106		1	18	140	642	107	198
1971	1,207	2.37	1	25	153	791	112	125
1976	2,095	9.40	-	51	182	1,557	100	205
1981	3,106	9.21	-	91	245	2,453	128	189
1986	4,573	7.63	1	153	346	3,654	241	178
1991	7,036	5.80	2	212	486	5,514	606	216
1992	7,439	5.73	2	222	522	5,832	633	228
1993	7,926	6.55	2	247	542	6,206	660	269
1994	8,345	5.29	1	267	548	6,374	714	441
1995	8,892	6.55	1	288	552	6,643	1,021	387
1996	9,186	3.31	2	305	577	7,000	896	406
1997	9,454	2.92	2	335	582	7,221	918	396
1998	10,010	5.88	2	360	591	7,640	913	504
1999	10,375	3.65	1	370	619	7,862	1,004	519
2000	10,867	4.74	1	386	628	8,147	1,083	622
2001	11,380	4.72	1	411	657	8,041	1,499	771
2002	11,699	2.80	1	447	661	8,191	1,530	869
2003	11,853	1.32	3	453	665	8,981	856	895
2004	12,253	3.37	3	466	709	9,259	773	1,043
2005	12,703	3.67	3	480	711	9,494	800	1,215
2006	12,960	2.02	4	500	742	9,606	742	1,366

注：Affiliate会員は含まない。

# IV 2006年会計報告

単位：日本円

	予 算 (1/1～ 12/31)	決 算 (1/1～ 12/31)	対予算 (%)	備 考
<b>収入の部</b>				
<b>I. 《東京支部》</b>				
◆IEEE 本部勘定	20,263,000	20,891,560	103	予算は US\$1=¥115を適用
・支部リポート	3,266,000	3,887,206	119	①US\$ 3,513.74 @¥117.41=412,548 (2006/3/10) ②US\$30,311.95 @¥114.63=3,474,658 (2006/7/6)
・Section Assessment	16,905,000	17,004,354	101	前期：US\$139,713.23 @¥115.37 後期：US\$7,589.03@¥116.7
・その他	92,000	-	-	
◆雑収入	2,000	4,799	240	受取利息
◆積立金取崩	-	-	-	
・事務局設備基金取崩	-	-	-	
・為替変動準備金取崩	-	-	-	
<b>東京支部収入合計</b>	<b>20,265,000</b>	<b>20,896,359</b>	<b>103</b>	
<b>II. 《信越支部》</b>				
◆雑収入	-	1		新規口座開設
◆新支部設立資金	-	228,760		US\$2,000@114.38
<b>信越支部収入合計</b>	<b>-</b>	<b>228,761</b>		
<b>収 入 合 計</b>	<b>20,265,000</b>	<b>21,125,120</b>		
<b>支出の部</b>				
<b>I. 《東京支部》</b>				
◆Councilへの拠出金	16,905,000	17,001,854	101	前期：US\$139,713.23 @¥115.37 後期：US\$7,589.03@¥116.7
◆会合費	1,350,000	1,145,060	85	
・総会費	700,000	676,658	97	総会資料印刷代/懇親会費を含む
・講演会費	250,000	133,208	53	会場費
・理事会費	100,000	228,535	229	飲み物代
・その他会合費	300,000	106,659	36	Seoul支部とのMOU締結会合、幹事会社引継ぎ懇親会
◆Committee活動費	100,000	3,000	3	Tokyo Bulletin発行/H P制作費
◆Student Branch支援費	500,000	1,100,350	220	RIOSC（北京）渡航費、Young Researchers Workshop賞金他
◆事務局設備費	100,000	47,245	47	パソコン修理代
◆ITサービス運用費	1,000,000	988,470	99	ハウジング費用/常駐保守
◆通信費	50,000	32,848	66	Internet通信費等
◆支払手数料等	350,000	290,630	83	前年度監査費用、銀行手数料等
◆50周年記念費	500,000	469,000	94	
◆予備費	1,000,000	70,797	7	Milestone銘盤、贈呈式写真焼増等
<b>東京支部支出合計</b>	<b>21,855,000</b>	<b>21,149,254</b>	<b>97</b>	
<b>II. 《信越支部》</b>				
◆支払手数料等	-	2,500		
<b>信越支部支出合計</b>	<b>-</b>	<b>2,500</b>		
<b>支 出 合 計</b>	<b>21,855,000</b>	<b>21,151,754</b>		
<b>収 支</b>	<b>-1,590,000</b>	<b>-26,634</b>		(東京支部：-252,895)
◆前年度繰越金	11,215,705	11,215,705	100	
◆次期繰越金	9,625,705	11,189,071	116	(東京支部：10,962,810 信越支部：226,261)

\*信越支部が6月に承認されたため、信越支部の会計は2006年度に限って東京支部が行った。



# 財産目録

単位：日本円

科 目	2006年12月31日	2005年12月31日
<b>Balance Sheet</b>		
I. 資産の部		
1. 流動資産		
○現金	20,000	20,000
○普通預金(A)	11,169,071	11,195,705
○定期預金	16,698,001	16,698,001
◇現金・預金合計	27,887,072	27,913,706
◇その他流動資産	0	0
流動資産合計：	27,887,072	27,913,706
2. 固定資産		
◇電話加入権	145,600	145,600
◇機器および備品	3,853,815	3,853,815
◇減価償却累計額	(3587374)	(3493336)
固定資産合計：	412041	506079
資産合計：	28299113	28419785
II. 負債および純資産の部		
1. 流動負債		
	0	0
2. 固定負債		
	0	0
負債合計：	0	0
3. 正味財産		
負債および正味財産合計：	28299113	28419785
<b>Statement of Activities</b>		
I. 収益の部		
◇支部レポート	3,887,206	3281007
◇Section Assessment	17,004,354	16046603
◇その他(SM報奨金、Student Subsidy)	-	0
◇受取利息	4,799	2778
◇信越支部設立資金	228,760	
◇雑収入(B)	1	0
収益合計：	21125120	19330388
II. 費用の部		
◇会合費	1,145,060	840194
◇Publication Expenses	3,000	97980
◇Student Branch支援費	1,100,350	320000
◇Japan Councilへの拠出金	17,001,854	16046603
◇事務局費および一般管理費	1,432,490	2039985
◇50周年記念費	469,000	
◇減価償却費	94,038	94038
費用合計：	21245792	19438800
正味財産増減額	(120672)	(108412)
期首正味財産	28419785	28528197
期末正味財産	28299113	28419785
<b>Statement of Cash Flows</b>		
I. 収入の部		
◇支部レポート	3,887,206	3281007
◇Section Assessment	17,004,354	16046603
◇その他(SM報奨金、Student Subsidy)	-	0
◇受取利息	4,799	2778
◇信越支部設立資金	228,760	
◇雑収入(B)	1	0
収入合計：	21125120	19330388
II. 支出の部		
◇会合費	1,145,060	840194
◇Publication Expenses	3,000	97980
◇Student Branch支援費	1,100,350	320000
◇Japan Councilへの拠出金	17,001,854	16046603
◇事務局費および一般管理費	1,432,490	2039985
◇設備備品		
◇50周年記念費	469,000	
◇固定資産等購入		
支出合計：	21151754	19344762
現金・預金増減額	(26634)	(14374)
期首現金・預金残高	27913706	27928080
期末現金・預金残高 (C)	27,887,072	27,913,706

(A) 2006年度のみ信越支部と合算（東京支部：¥10,942,810 信越支部：¥226,261）  
 (B) 信越支部口座開設資金  
 (C) 東京支部：¥27,660,811 信越支部：226,261

## 【参考資料】

## 2006年IEEE Japan Council 会計報告

単位：日本円

	予 算 (1/1~12/31)	決 算 (1/1~12/31)	対予算 (%)	備 考
収入の部				
◆IEEE 本部勘定	998,775	1,139,422	114	予算ではUS\$1=¥115を適用
・Chapter Rebate	998,775	1,139,422	114	US\$9,940.00@¥114.63
◆各支部よりの拠出金	27,830,000	27,655,769	99	US\$228,820.86 平均@¥116.29
・札幌支部		439,414 76,285		前期分:US\$3,820.75@¥115.40手数料1500円 後期分:US\$673.58@¥115.48手数料1500円
・仙台支部		1,681,597 37,716		前期分:US\$13,996.16@¥120.147* 後期分:US\$336.80@¥116.44手数料1500円
・東京支部		16,118,715 883,139		前期分:US\$139,713.23@¥115.37 後期分:US\$7,589.03@¥116.70手数料2500円
・名古屋支部		1,996,766 -		前期分:US\$17,316.00@¥115.4手数料1500円 (後期分:次年度前期に請求)
・関西支部		3,958,020 193,875		前期分:US\$34,307.19@¥115.37 後期分:US\$1,659.42@¥118.34手数料2500
・広島支部		845,190 51,401		前期分:US\$7,217.68@¥117.10 後期分:US\$448.43@¥117.97手数料1500
・四国支部		373,040 -		前期分:US\$3,232.59@¥115.40 (後期分:次年度前期に請求)
・福岡支部		792,478 208,133		前期分:US\$6,767.54@¥117.10 後期分:US\$1,833.74@¥114.32手数料1500
◆雑収入	300	2,609	870	受取利息等
合 計	28,829,075	28,797,800	100	
支出の部				
◆事務局費	13,100,000	11,844,962	90	
・給料諸給	4,000,000	3,940,173	99	交通費/労働保険/所得税を含む
・臨時雇費	-	-	-	
・事務所賃借料	1,900,000	1,788,253	94	
・事務所設備費用	400,000	149,177	37	IT環境整備費など
・通信費	300,000	207,770	69	電話回線使用料、切手など
・交通費	100,000	5,490	5	
・事務用品費	150,000	127,959	85	
・事務機器レンタル費	1,000,000	967,702	97	コピー機・ファックス機/コピー使用料等
・支払手数料等	5,250,000	4,658,438	89	銀行手数料/会計監査費用/派遣社員費用など
◆会合費	2,000,000	1,984,326	99	
・理事会・各委員会費	1,500,000	1,984,326	132	参加旅費を含む、札幌支部との交流費
・その他会合費	500,000	-	-	
◆Section支援費	2,800,000	2,170,605	78	札幌、仙台、広島、四国、福岡、関西各支部
◆Chapter支援費	6,498,775	7,008,106	108	Chapter Rebateを含む
◆Student Branch支援費	2,000,000	1,709,044	85	SAC Workshop開催費用・参加旅費等
◆WIE支援費	500,000	398,409	80	
◆東京支部50周年記念式典会場費	1,500,000	958,648	64	
◆予備費	430,300	0	-	
合 計	28,829,075	26,074,100	90	
収 支	-	2,723,700	-	
◆前年度繰越金	20,404,992	20,404,992	100	
◆次年度繰越金	20,404,992	23,128,692	113	

\*仙台支部の前期S Aは返金などの手続きが発生したため、レートを算出した場合の相当額を記載。

## 2007 年 活動計画

### 1. Japan Council 運営の支援

国内他支部(8支部)との連携を強化し、日本全体としての IEEE 活動の活性化に積極的に協力する。東京支部の Secretary および Treasurer は Japan Council の同役職を兼務しており、それぞれの役割において Council の活動支援を推進する。

### 2. ボストン支部、ソウル支部との交流

2002 年 10 月に調印を行ったボストン支部、2006 年 6 月に調印を行なったソウル支部との姉妹支部協定をふまえて、両支部との交流を推進する。特に新たに姉妹協定を結んだソウル支部とは、最初の交流活動として学生の交流を中心とした共同イベントをソウルまたは東京で開催することを計画中である。東京支部のみならず、広く日本の IEEE の学生活動の活性化につながるよう活動を推進する。

### 3. 委員会活動

#### 3-1. Student Branch 活動支援

東京支部の学生ランチの数は、東大、東工大、慶大、横浜国大、武蔵工業大学、東京電機大学の 6 校で、日本全国の学生ランチはその他、北大、東北大、静岡大、阪大、京大、立命館大、奈良先端科学技術大、熊本大、山口大、香川大、名古屋大があり(全国合計 17 校)、それぞれ学生を中心として IEEE 活動が展開されている。学生ランチ活動の促進として、Region 10 主催の学生活動への積極的な参加の呼びかけやランチ活動への経済的支援などを通じたランチ活動の活性化に協力するとともに、ランチ新設への働きかけを行う。また、前述のボストン支部およびソウル支部との姉妹支部協定を踏まえて、ランチ間交流を推進する。

#### 3-2. 会員数の増強

会員数の増加率の低迷を改善するため、Membership Development Committee の活動を活性化させ、会員サービスおよび広報活動の強化などを通じて会員数の増強を図る。

#### 3-3. IEEE Fellow の推薦支援

「より多くのノミネーションを得る」「確実な昇格を果たすための支援・協力を行う」「WEB を活用した効率的なノミネーションプロセスの推進を行う」という昨年までの方針を維持・強化する。具体的には、2006 年と同様にフェローノミネーション連絡表、ノミネーション作成のための情報などを支部ホームページに掲載することによるノミネータ支援の強化を図り、Fellow への昇格数の増加を図る。

#### 3-4. 東京支部講演会の開催

Technical Program Committee の活動を活性化させ、多くの支部会員に参加してもらえるように広範囲な分野の講演会を企画し、開催回数を増やす。

### 3-5. 会員への情報提供

Publications Committee が発行する IEEE Tokyo Bulletin(日本語、英語)を充実させ、インターネットによる会員へのタイムリーな情報配信を行う。インターネットサービスの拡充を図るため、2005年より運用を始めた事務局独自サーバを活用し、会員への情報サービスの向上を図る。

以上

## VI 2007年予算（案）

単位：日本円

	2007年予算案 (1/1～ 12/31)	備考
<b>収入の部</b>		
◆IEEE 本部勘定	19,250,000	予算は US\$1=¥110を適用
・支部リポート	3,080,000	US\$28,000 (Gross) を想定
・Section Assessment	16,170,000	US\$147,000 (Gross) を想定
◆雑収入	5,000	受取利息等
収入合計	19,255,000	
<b>支出の部</b>		
◆Councilへの拠出金	16,170,000	Section Assessment全額
◆会合費	1,350,000	
・総会費	700,000	資料印刷代/証書額/懇親会費を含む
・講演会費	250,000	会場費、謝礼金を含む
・理事会費	100,000	
・その他会合費	300,000	
◆Committee活動費	300,000	Tokyo Bulletin発行/HP制作費
◆Student Branch支援費	1,000,000	
◆事務局設備費	100,000	ファシリティ
◆ITサービス運用費	1,000,000	常駐保守/トラブル対応/HP 等
◆通信費	40,000	Internet通信費/宅急便/ハガキ・切手等
◆支払手数料等	350,000	前年度監査費用、銀行手数料等
◆信越支部設立支援金	500,000	
◆予備費	500,000	Milestone関連他
支出合計	21,310,000	
<b>収支</b>	-2,055,000	
◆前年度繰越金	10,962,810	
◆次期繰越金	8,907,810	

## 2007年新Fellows

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	東京	千葉 明 Chiba Akira	東京理科大学	<i>For contributions to bearingless AC motor drives</i>
2	東京	榎並 和雅 Enami Kazumasa	情報通信研究機構	<i>For contributions to content production technology in broadcasting</i>
3	東京	板屋 義夫 Itaya Yoshio	NTT先端技術総合研究所	<i>For contributions to high performance long-wavelength semiconductor lasers for optical communications</i>
4	東京	岩岡 秀人 Iwaoka Hideto	金沢工業大学	<i>For leadership in developing optical devices and optical microelectro mechanical systems for sensing and measuring instruments</i>
5	東京	河原 尊之 Kawahara Takayuki	(株)日立製作所中央研究所	<i>For contributions to low-voltage low-power random access memory circuits</i>
6	東京	緑川 克美 Midorikawa Katsumi	理化学研究所	<i>For contributions to generation of intense coherent soft x-ray radiation</i>
7	東京	小川 博世 Ogawa Hiroyo	情報通信研究機構	<i>For contributions to microwave and millimeter-wave technology</i>
8	東京	菅野 重樹 Sugano Shigeki	早稲田大学	<i>For contributions to design, control and system integration of human symbiotic robots</i>
9	東京	徳田 正満 Tokuda Masamitsu	武蔵工業大学	<i>For leadership in development and international standardization of electromagnetic compatibility for telecommunication systems</i>
10	東京	浦 環 Ura Tamaki	東京大学	<i>For contributions to autonomous underwater vehicle technologies</i>
11	東京	山田 浩 Yamada Hiroshi	(株)東芝	<i>For contributions to packaging technology of integrated circuits</i>
12	東京	山品 正勝 Yamashina Masakazu	NECエレクトロニクス(株)	<i>For leadership in high performance microprocessor circuits</i>

## 他支部所属新Fellows

No.	所属支部	氏名	所属	Citation
1	広島	三浦 道子 Miura-MattauschMitiko	広島大学	<i>For contributions to nanoscale metal oxide semiconductor field effect transistor compact modeling</i>
2	関西	小田中 紳二 Odanaka Shinji	大阪大学	<i>For contributions to numerical modeling and simulation of scaled common metal oxide semiconductor integrated circuit processes and devices</i>
3	関西	酒井 英昭 Sakai Hideaki	京都大学	<i>For contributions to statistical and adaptive signal processing</i>
4	関西	三瓶 政一 Sampei Seiichi	大阪大学	<i>For contributions to the development of fading compensation and adaptive modulation techniques for wireless communication systems</i>
5	関西	鹿野 清宏 Shikano Kiyohiro	奈良先端科学技術大学	<i>For contributions to speech recognition, dialog systems, voice conversion, and acoustic field realization</i>
6	関西	杉江 俊治 Sugie Toshiharu	京都大学	<i>For contributions to tracking control and its application to mechanical systems</i>

## 2007年IEEE Medal/Award 日本人受賞者

- IEEE Corporate Innovation Recognitions Recipient  
Toyota Motor Corporation

*“For the development and promotion of a hybrid combustion-electric power train for automobiles that significantly improves fuel economy and reduces emissions without sacrificing vehicle dynamic performance.”*

## **The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. Tokyo Section Bylaws**

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE) Bylaws, Constitution, RAB Operations Manual and IEEE Policy and Procedures will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

### **Article I - Name and Territory**

1. This organization shall be known as the Tokyo Section of The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc., hereinafter called the IEEE Tokyo Section.
2. The territory of the IEEE Tokyo Section, as approved by the Regional Activities Board, shall be the Kanto district in Japan with postal codes starting 100 through 379 and 400 through 409. (Note: The members whose postal codes are not recorded in the IEEE database shall tentatively belong to the Tokyo Section until they are clarified.)

### **Article II - Officers**

1. The elected officers of the Section shall be the Chair, Vice Chair, Secretary and Treasurer, hereinafter called the Section Officers. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.
2. The terms of office of the elected officers shall be for two (2) years.
3. The terms of office will begin on 1 January but in any case the outgoing Officers will continue until their successors are duly elected and take office.
4. Any vacancy occurring during the years shall be filled for the remainder of the term by a majority vote of the Section Executive Committee.
5. The consecutive period of service in any one office shall not exceed three years. However, an office may not serve more than one successive two-year term without approval of the Regional Director.
6. The duties of the Section Officers will be available from Regional Activities Department (RAD).

### **Article III - Standing Committees**

1. The Standing Committees of the Section will be as follows:
  - Chapter Promotion
  - Fellow Nominations
  - Membership Development
  - Nominations
  - Technical Program
  - Publications
  - Student Activities
2. The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and its term will correspond to the elected officers.



3. Each Standing Committee Chair will appoint his/her committee members with approval from the Section Executive Committee, and their terms will correspond to the elected officers.
4. Duties of the Standing Committees will be available from Regional Activities Department (RAD).

**Article IV - Management**

1. The management of the IEEE Tokyo Section shall be conducted by the Section Executive Committee which shall consist of the elected Officers, the Past Section Chair, the Standing Committee Chairs, representatives from Society Chapters and such other members appointed by the Section Chair and/or Section Executive Committee. The number of the Section Executive Committee members shall not exceed nineteen (19) and the number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.
2. A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.
3. A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of Section business.
4. Meetings of the Section Executive Committee will be held at least four (4) times a year, and will be called by the Chair or by a request of any three (3) members of the Section Executive Committee.
5. The fiscal year of the Section shall be 1 January - 31 December.

**Article V - Nomination and Election of Officers**

1. The Nominations Committee consisting of three (3) or more members, not then Section Officers, shall be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.
2. The nominations by the Nominations Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of twenty-eight (28) days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by two percent (2%) or more voting membership.
3. If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot mailed to the membership. The votes will be counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.
4. The timetable for this procedure is as follows:
 

Announce nominations	by 31 August
Close nominations by petition	by 30 September
Mail a ballot, if required	by 31 October
Hold elections	by 30 November
5. A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

**Article VI - Business Meeting**

In order to transact business at a Section meeting, at least three (3) Section Executive Committee members must be present to constitute a quorum.

**Article VII - Finances**

1. All expenditures of Section funds must be approved by the Section Executive Committee.
2. Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can only be used for normal operations of the Section.

3. The Treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.
4. An assessment can be charged to members of the Tokyo Section in accordance with the IEEE Bylaws.

**Article VIII - Amendments**

1. Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by twenty percent (20%) or more voting members.
2. Amendment to or revocation of these Bylaws shall require a two thirds ( $\frac{2}{3}$ ) majority vote of the Section Executive Committee.
3. Following the approval of the IEEE Tokyo Section, amended Section bylaws must be submitted to the IEEE Regional Activities Department (RAD) for review. RAD staff will then secure the approval of the Region Director, following up where necessary with the Section ExCom. The bylaws will not be effective until such time as they have been approved by the Regional Activities Board.

-----

- The Tokyo Section Executive Committee approved the revision at its meeting on 15 December 2006.

## 事務所所在地

〒105-0003 東京都港区西新橋 3 丁目 6 番 2 号 西新橋企画ビル 8 階

Email: [tokyosec@ieee-jp.org](mailto:tokyosec@ieee-jp.org)

### 交通

- ・ JR 新橋駅 烏森口から徒歩 10 分
- ・ 地下鉄都営三田線 内幸町駅から徒歩 6 分

